

## 2019年度 大学院生による授業評価報告書

川崎医療福祉大学  
FD・SD委員会

大学院生による授業評価は、学部の学期別・科目ごとに評価する方法と異なり、年度末に専攻のカリキュラム全体に対する評価として実施している。

### 1. 実施状況

#### 1-1 実施日

提出期限 2020年3月13日(金)

提出場所 教務課

#### 1-2 実施方法

これまでと同様に、専攻ごとにカリキュラム全体に対する評価として実施した。巻末の資料に示す質問用紙に直接回答する方法をとり、結果を手入力したうえ、分析に供した。

### 2. 実施結果の分析(表)

#### 2-1 回答者数及び回収率

修士課程については在籍者89名中62名から回答を得て、回収率は69.7%(昨年度53.3%)、博士後期課程については在籍者35名中23名から回答を得て、回収率は65.7%(昨年度34.4%)であった。

#### 2-2 教育の満足度(Q1)

以下、各問に対する回答は5:そう思う、4:やや思う、3:どちらでもない、2:やや思わない、1:そう思わない、の5段階評価であった。修士課程は平均4.5(昨年度4.1)で、臨床心理学専攻(4.3)と保健看護学専攻(4.1)以外の専攻は4.5以上の高評価であった。3.0未満の低評価の専攻はなかった。博士後期課程は平均4.5(昨年度4.5)と高かった。

#### 2-3 カリキュラムの体系性(Q2)

修士課程については平均4.4(昨年度3.9)で、臨床心理学専攻(4.1)と保健看護学専攻(4.1)、医療福祉デザイン専攻(4.0)以外の専攻は4.5以上の高評価であった。3.0未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程は平均4.3(昨年度4.2)であった。

#### 2-4 研究の質(Q3)

修士課程については平均4.5(昨年度4.1)で、臨床心理学専攻(4.2)と保健看護学専攻(4.0)以外の専攻は4.5以上の高評価であった。3.0未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程では平均4.4(昨年度4.6)と高値であった。

#### 2-5 指導方法及び教員間の連携 (Q4)

修士課程では平均 4.5 (昨年度 3.8) で、臨床心理学専攻(4.0)、保健看護学専攻(4.1)以外の専攻は 4.8 以上の高評価であった。博士後期課程は平均 4.4 (昨年度 4.4) であった。

#### 2-6 他専攻の教員及び大学院生との対話・交流 (Q5)

修士課程では、平均 3.5 (昨年度 3.1) で、4.5 以上の高評価であった専攻は臨床工学専攻と医療福祉経営学専攻で、3.0 未満の低評価の専攻は、臨床心理学専攻、医療福祉デザイン学専攻と医療情報学専攻であった。博士課程では平均 3.8 (昨年度 3.6) であった。

#### 2-7 研究指導 (Q6)

修士課程では平均 4.4 (昨年度 4.1) であった。臨床心理学専攻 3.9、健康体育学専攻 4.4、医療秘書学専攻 4.0 以外の専攻については、4.5 以上の高評価であった。3.0 未満の低評価である専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.7 (昨年度 4.7) と高い評価であった。

#### 2-8 社会 (臨床現場) との連携 (Q7)

修士課程では平均 4.0 (昨年度 3.4) であった。4.5 以上の高評価であった専攻は医療福祉学専攻とリハビリテーション学専攻、医療秘書学専攻で、3.0 未満の低値であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.0 (昨年度 3.3) であった。

#### 2-9 成果の公開 (Q8)

修士課程では平均 4.2 (昨年度 4.0)、4.5 以上の高評価であった専攻は健康体育学専攻、リハビリテーション学専攻、臨床工学専攻および医療秘書学専攻で、3.0 未満の低値であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.7 (昨年度 4.6) であった。

#### 2-10 設備・施設 (Q9)

修士課程では平均 4.3 (昨年度 3.9)、4.5 以上の高評価であった専攻は医療福祉学専攻、感覚矯正学専攻、健康体育学専攻、臨床栄養学専攻、臨床工学専攻、医療秘書学専攻および医療福祉デザイン学専攻で、3.0 未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.3 (昨年度 3.6) であった。

#### 2-11 学習意欲 (Q10)

修士課程では平均 4.3 (昨年度 3.9)、4.5 以上の高評価であった専攻は医療福祉学専攻、感覚矯正学専攻、健康体育学専攻、リハビリテーション学専攻、医療秘書学専攻、医療情報学専攻で、3.0 未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.7 (昨年度 4.5) であった。

### 3. 自由記述

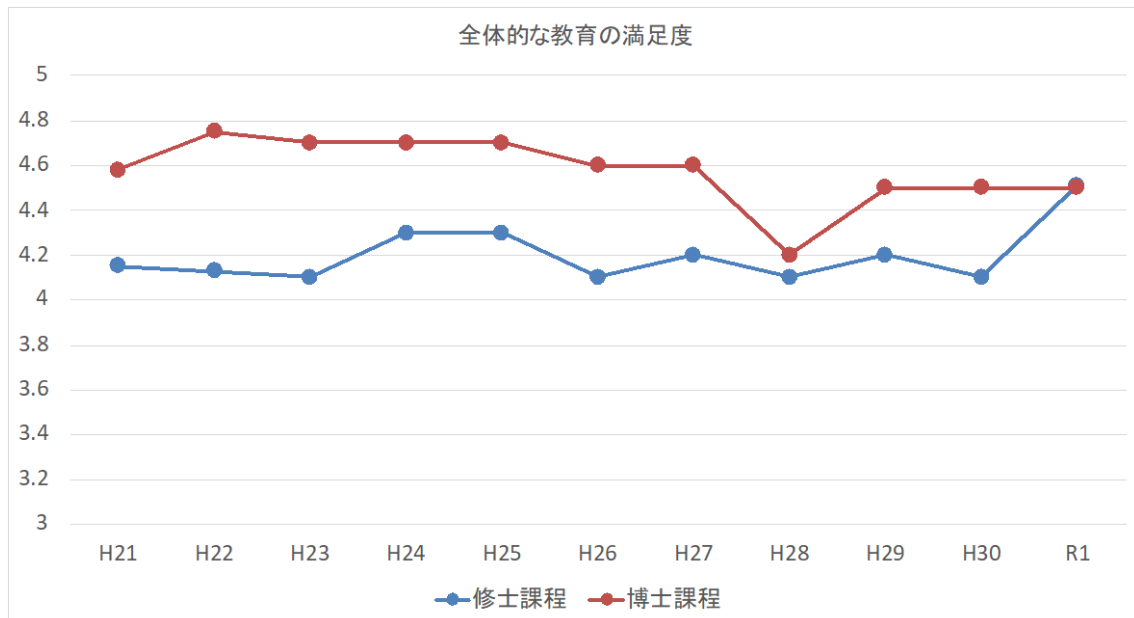
別途保管する。

#### 4. まとめ

総合的な満足度は修士課程 4.5 博士後期課程 4.5 で、修士課程は昨年度の 4.1 を大きく上回り、博士後期課程は前年と同程度の評価であった。過去 11 年間の推移は以下のとおりである。

特に、修士課程において、「指導方法及び教員間の連携」と「社会（臨床現場）との連携」では平均値 0.5 ポイントを上回る上昇が認められた。また、「対話・交流」では平均値が 3.5 と他の項目と比較して大幅な低値を示し、臨床心理学専攻、医療福祉デザイン学専攻、および医療情報学専攻で 3.0 を下回った。2 年前に廃止された専攻別居室に起因するもの（自由記載の内容から）と思われるが、詳細な原因分析と今後の対策が望まれる。

過去 11 年間の全体的な満足度の推移



課程	専攻	学生数	回答数	回収率	Q1:専攻の教育		Q2:カリキュラム		Q3:研究の質		Q4:指導方法と連携		Q5:対話・交流		Q6:研究指導		Q7:社会との連携		Q8:成果の公開		Q9:設備・施設・図書		Q10:学習・研究意欲	
					n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV
修士	11:福祉	9	4	44.4%	4	4.8	4	4.8	4	4.8	4	4.8	4	3.8	4	4.8	4	4.8	4	4.3	4	4.8	4	4.8
	12:心理	24	22	91.7%	22	4.3	22	4.1	22	4.2	22	4.0	22	2.9	22	3.9	22	4.3	22	4.0	22	4.0	22	3.8
	13:看護	16	10	62.5%	9	4.1	10	4.1	9	3.9	9	4.1	9	3.7	10	4.5	9	3.8	10	4.0	10	3.8	10	4.2
	21:感覚	7	5	71.4%	5	4.8	5	4.6	5	4.8	5	4.8	5	4.4	5	4.8	5	4.0	5	3.8	5	4.6	5	4.8
	22:健体	8	8	100%	8	5.0	8	5.0	8	5.0	8	5.0	8	3.5	8	4.4	8	3.3	8	5.0	8	4.5	8	4.9
	23:栄養*	4	4	100%	4	4.8	4	4.8	4	5.0	4	5.0	4	4.3	4	5.0	4	4.0	4	4.3	4	4.8	4	4.3
	24:リハ	2	1	50.0%	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	3.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	4.0	1	5.0
	26:臨工	1	1	100%	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	4.0	1	5.0	1	5.0	1	4.0
	31:経営	6	1	16.7%	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	4.0	1	4.0	1	4.0	1	4.0
	32:秘書	3	3	100%	3	5.0	2	5.0	3	5.0	2	5.0	2	4.5	2	5.0	2	4.5	2	4.5	2	5.0	2	4.5
	33:デザ	2	2	100%	2	4.5	2	4.0	2	4.5	2	5.0	2	2.5	2	4.5	2	3.5	2	4.0	2	4.5	2	4.0
	34:情報	7	1	14.3%	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	2.0	1	5.0	1	4.0	1	4.0	1	4.0	1	5.0
	合計	89	62	69.7%	61	4.5	61	4.4	61	4.5	60	4.5	60	3.5	61	4.4	60	4.0	61	4.2	61	4.3	61	4.3

※研究生を含む

博士後期	11:福祉	3	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12:心理	4	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13:看護	3	2	66.7%	2	4.5	2	4.5	2	4.5	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	5.0	2	4.5
	21:感覚	7	5	71.4%	5	4.4	5	4.4	5	4.4	5	4.4	5	4.4	5	4.4	5	5.0	5	4.8	5	4.4	5	4.8
	24:リハ	7	6	85.7%	6	4.7	6	4.5	6	4.7	6	4.8	6	4.3	6	4.8	6	4.3	6	4.8	6	4.8	6	4.8
	25:健康	8	8	100%	8	4.4	8	4.1	8	4.1	8	3.9	8	3.0	8	4.5	8	3.3	8	4.5	8	3.8	8	4.5
	26:臨工	1	1	100%	1	4.0	1	4.0	1	4.0	1	4.0	1	3.0	1	5.0	1	3.0	1	4.0	1	3.0	1	4.0
	34:情報	2	1	50.0%	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	4.0	1	5.0	1	4.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0
合計	35	23	65.7%	23	4.5	23	4.3	23	4.4	23	4.4	23	3.8	23	4.7	23	4.0	23	4.7	23	4.3	23	4.7	

回答数:n、平均値(5段階):AV

【表】

## 2019年度 大学院生による授業評価アンケート

川崎医療福祉大学 FD・SD委員会

【所属する課程に ○ をしてください。】

1 : 修士課程                      2 : 博士後期課程

【所属する専攻に ○ をしてください。】

11 : 医療福祉学専攻	12 : 臨床心理学専攻	13 : 保健看護学専攻
21 : 感覚矯正学専攻	22 : 健康体育学専攻	23 : 臨床栄養学専攻
24 : リハビリテーション学専攻	25 : 健康科学専攻	26 : 臨床工学専攻
31 : 医療福祉経営学専攻	32 : 医療秘書学専攻	33 : 医療福祉デザイン学専攻
34 : 医療情報学専攻		

【専攻の教育全体について、適当と思われるものに ○ をしてください。】

- Q1 専攻の教育は全体として満足できるものだった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q2 カリキュラムは体系的であった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q3 専攻で行われている研究の質は満足できるものだった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q4 専攻の教員の指導方法及び教員間の連携は満足できるものだった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q5 他専攻の教員や大学院生との対話や交流は満足できるものだった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q6 指導教員の研究指導は満足できるものだった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q7 社会(臨床現場)との連携は満足できるものだった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q8 研究成果を公開する機会は十分に多かった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q9 実験・研究・実習の設備・施設及び図書は満足できるものだった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない
- Q10 あなたの学修・研究に対する意欲は十分に高かった。  
5 : そう思う                      4 : やや思う                      3 : どちらでもない                      2 : あまり思わない                      1 : そう思わない

【大学院の教育について、何かご意見があればご自由にお書きください。】

直接、所属の専攻へ提出するか、または、教務課までご提出ください(郵送可)。  
ご協力、誠にありがとうございました。

提出期限:2020年3月13日(金)17時